

2019年度事業計画

(2019年4月1日～2020年3月31日)

I 方針

1. 民藝美の概念と価値を普及し地域の生活文化の向上に寄与する。
 - ・当館の特性を活かし、優れた館蔵品等を活用して、質の高い展覧会を開催する。
 - ・館蔵品等の貸与や民藝に関する情報提供を通じて、国内外地域との文化交流を図る。
2. 民藝品の普及と啓蒙活動の推進とその製作にかかわる工人の育成に貢献する。
3. 展示室や収蔵庫の環境整備をはじめ、民藝に関する資料や情報のアーカイブ化を推進し次代に継承する。

II 事業

1. 展示活動及び調査研究と情報収集・提供に関する事業

1) 2019年度開催の展覧会及び講演会

- ・春期特別展「藍染の絞り-片野元彦の仕事」
会期：2019年4月2日（火）～6月16日（日）、会期の内覧会及び記念講演会開催
- ・夏期特別展「食の器」
会期：2019年6月25日（火）～9月1日（日）、会期内の記念講演会開催
- ・秋期特別展「柳宗悦と古丹波」
会期：2019年9月10日（木）～11月24日（日）、会期内の内覧会及び記念講演会開催
- ・日本民藝館展 -新作工藝公募展-
会期：2019年12月14日（土）～12月25日（水）
公募作品の審査・表彰及び分野別講評会の実施
- ・冬期特別展「祈りの造形 - 沖縄の厨子甕を中心に」
会期：2020年1月12日（日）～3月22日（日）、会期内の記念講演会開催

2) 調査・研究及び情報収集・提供に関する事業

- ・所蔵品の調査・研究を基にした展覧会図録を発行する。

3) 資料・文献などの保存管理と活用

- ・所蔵品の保存状態を定期的に点検し、防虫防菌処理や修復が必要な場合には適宜措置を施す。
- ・文献資料・図書類のデータベースのデータ更新を継続する。

2. 民藝の普及・振興に関する事業

1) 各地美術館及び他民藝館への所蔵品の貸与、及び共同企画への参画

- ・館所蔵品等の国内外の美術館等への貸出や、共同企画展への参加を通して民藝の普及を行う。

2) 各地美術館及び関係団体への講師・講演協力

- ・日本民藝協会主催の催事及び他館（美術館等）への講師・講演を通し、民藝運動及び日本民藝館の活動をアピールし普及・推進させる。

3) 博物館実習の受け入れによる現場教育の機会提供

- ・博物館学芸員資格の習得を希望する学生に対し現場における知識・技能の習得を支援し、将来

の美術館活動を担う人材の育成に協力する。

実習生数：約 15 人程度 実習期間：10 日間（講義 4 日、実務実習 6 日）

- 4) 「日本民藝館友の会・維持会及びキャンパスメンバーズ」会員への情報提供と入会の案内
 - ・会員や一般を対象としたセミナー、見学会など定期的な開催を企画していく。
 - ・会員に情報「日本民藝館の特別展・記念講演・見学会の案内」を定期的に送付する。
 - ・キャンパスメンバーズ加入校に展覧会ポスターや特典を告知するチラシを適時送付する。
- 5) 小学校を中心とする学校との連携による美術館教育などの教育普及活動
 - ・民藝の普及活動の一環として、小学生を主対象とした鑑賞教室などの企画・運営を行う。
- 6) 関連団体との連携
 - ・他館との情報交換や近隣施設との活動の連携に努め、展覧会資料の配布などで PR 強化を図る。
- 7) 国際文化交流に関する事業
 - ・フィンランドとスウェーデンの美術館で開催される「北欧ジャポニスムと民藝運動」に関連する展覧会への作品貸与や情報提供を実施する。

3. 民藝に携わる工人の育成及び協力・支援に関する事業

- ・日本民藝館展の開催(新作工芸公募展)
 - ① 出展公募：新作工芸品の制作者および協力制作者を対象に作品を公募し、その選考を通して出品者を顕彰。併せて講評会を実施して、製作者の育成支援を促進する。
 - ② 入選作の展示公開と即売：選考された優秀な作品を大展示室で展示公開する。また、入選作品の即売を通して作り手を支援し、世の中に優れた新作工芸品を普及させる。

4. 広報活動・運営管理の向上に関する事業など

1) 広報活動

- ・ホームページ/facebook/駅貼り有料ポスターによる情報の発信
展覧会や各種催事の情報をホームページやソーシャルメディアを通して発信し、また展覧会ポスターの電鉄構内への掲出により、幅広い客層の獲得に向けた活動を継続的に展開する。
- ・マスメディアの情報による集客強化
館の展覧会・催事について、TV、ラジオ、新聞、雑誌、インターネット情報誌などの多方面にわたるマスコミ取材に積極的に対応し、情報提供の周知化を継続的に進める。
- ・プレス及び関係者向けの内覧会の実施
春と秋の企画展に際し、主にプレス関係者を対象に内覧会を開催して展覧会の告知に努める。
- ・弊館を紹介する映像資料の製作
館のブランディング（認知度・知名度）を高めるための映像（DVD/英語含む）を製作する。

2) 寄付や維持会員を増やすための募集活動

- ・創設 80 周年記念事業基金の募金活動（3 ヶ年計画）に向けて、関連団体や会員への働きかけをはじめ、クラウドファンディングの活用や CSR（社会貢献）活動を行う企業への理解促進を図り、募金活動を継続的に進める。

3) 施設の整備

- ・洗面/トイレの老朽化の改修工事に伴うユニバーサルデザイン仕様のバリアフリー化実施（前年度の公的目的事業会計の剰余金をこれに充当する）
- ・UGS（地中線用負荷開閉器）交換設置工事の実施

以上